

平成 21 年 4 月 24 日

「強化指定団体」の決定について

ナショナルチーム委員会

Crew JAPAN（シニア）メンバーの決定に伴い、今シーズンの「強化指定団体」を決定いたしましたのでお知らせ申し上げます。

「強化指定団体」がいかなるものであるかは、3 月 13 日に発表しました「「強化指定団体」の考え方について」という文書を参考のために別に添付いたしましたのでご覧ください。

Crew JAPAN（シニア）「強化指定団体」以下の 8 団体

アイリスオーヤマ

NTT 東日本

関西電力美浜

ダイキ

中部電力

戸田中央総合病院

トヨタ紡織

明治安田生命

（50 音順）

以上

(別添・参考)

平成 21 年 3 月 13 日

「強化指定団体」の考え方について

ナショナルチーム委員会

別に発表いたしました「チャレンジプログラム」で、Crew JAPAN メンバー (Crew JAPAN (U19) メンバーは除きます。以下同じ) の所属団体を「強化指定団体」として協会が指定し、Crew JAPAN メンバーおよびチームメートがより多く練習しやすい環境を作ることにいたしました。

ここでは、「強化指定団体」の具体的な運用について発表いたします。

Crew JAPAN (ナショナルチーム) が世界に挑むには、Crew JAPAN 独自の強化合宿などの活動のみでは不十分で、Crew JAPAN メンバーの所属先の協力を得た系統だった強化が必須です。具体的には、練習量、練習内容、モチベーションなどの情報を所属団体と Crew JAPAN とで共有し、Crew JAPAN メンバーが所属先に戻っても継続的に強化が進むことが重要になります。

この目的実現のために、「強化指定団体」には、次のようなことをお願いいたします。

- ①練習量の確保→Crew JAPAN ヘッドコーチが指示する練習内容についてのガイダンスを参考として、質、量ともに十分な練習を行っていただきます。
- ②練習結果についてのモニタリングへの協力→定期的に練習実施状況、練習結果を Crew JAPAN ヘッドコーチに報告し、アドバイスを受けていただきます。
- ③「強化指定団体」合宿への Crew JAPAN ヘッドコーチ参加→①、②での Crew JAPAN ヘッドコーチとの意識合わせをさらに確固としたものにするために、Crew JAPAN 独自の合宿以外の時期に合宿を設営していただき、ヘッドコーチがそれに参加し、包括的な状況把握ができるように協力していただきます。

協会側からは、「強化指定団体」に対して、互いに協議の上、可能な限り、次のような「メリット」を提供します。

- ①Crew JAPAN ヘッドコーチによる指導
 - ②西が丘の国立スポーツ科学センター (JISS) 施設利用の斡旋
 - ③Crew JAPAN 所有の機材などの貸与
 - ④「強化指定団体」登録選手が FISA ワールドカップ (注) に出漕することの承認
- (注) 本年については、ワールドカップ 2 戦 (ミュンヘン)、ワールドカップ 3 戦 (ルツェルン) を対象とします。

以上、ご理解とご協力を願います。